



東京地区生コンクリート協同組合
〒103-0027東京都中央区日本橋3丁目2番5号
電話番号 (03)3271-2181
URL:https://www.t-namakyō.jp/
発行責任者 高村 尚

＝協組の動き＝

(6月)

8日(月) 理事会(No. 1261)
22日(月) 理事会(No. 1262)

(7月)

13日(月) 理事会(No. 1263)
27日(月) 理事会(No. 1264)

おかげさまで
400号

平成7年3月に創刊号を発行し、おかげさまで今回で400号を迎えることができました。皆さまの温かいご支援に感謝申し上げます。これからも皆さまと東京協組を結ぶ「まど(窓)」であり続けられるよう、最新情報や重要なお知らせ等をお届けしてまいります。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

2025年度 営業・技術概況報告

通常総会議事終了後に2025年度の営業概況及び技術概況報告を以下のとおり行いました。

【営業報告】(報告者:要営業委員長)

2025年度の活動については、理事長方針である四つの課題、①出荷ベースの完全定着と適正価格の獲得、②安定供給の確保、③完全週休2日制の導入とスライド改定、④残コン・戻りコン、出荷キャンセルの削減に則り、ユーザーとの相互理解の形成、登録販売店との信頼関係の構築、組合員の団結強化を基本姿勢として活動を展開して参りました。

1. 販売形態と債権保全について

2001年10月に開始した登録販売店制度による販売形態と現金取引

5月25日に第50回通常総会を都内のホテルにて開催いたしました。

森理事長が冒頭挨拶で2025年度を振り返り、3,000円/㎡の値上げ、スライド改定、完全週休2日制導入、キャンセル料金変更等を一度に見直しましたが、これらはもとより期間契約を含めて順調に推移していることについて、組合員各社に感謝の意を述べました。

2025年度の出荷実績は217万㎡と東京協組創設以来最低記録となりましたが、価格改定等により、また旧契約分の対応として2023~2024年度にかけて約50億円の借入金による仕入価格増額補填を実施したこともあり、厳しい状況を切り抜けることができました。借入金の返済についても予定通り開始することができております。

2026年度は価格改定をせず、2027年度に3,000円+α/㎡の価格改定を実施することを公表しております。+αの部分はセメント各社の値上げ発表及び中東情勢の影響による原油や混和剤等の値上げを加味した新価格を、現在協組内にて精査中です。なるべく早い時期に組合員の同意を得ながら新価格を打ち出していきます。

その後、議事に移り、議長には常任理事の黒津 登喜郎氏が選任されました。まず2025年度の事業報告並びに決算関係書類、2026年度の事業計画並びに収支予算等、第1号~第6号議案まで計6件の議案が審議され、全件原案通り承認されました。



黒津議長

第50回 通常総会を開催

次に、3名の理事辞任により第7号議案として補充選任の件を審議、指名推選方式にて選考委員が3名の理事候補を選定し、総会にて承認されました。

【総会付議議案】

第1号議案

2025年度事業報告並びに決算関係書類承認の件

第2号議案

2026年度事業計画並びに収支予算決定の件

第3号議案

2026年度経費の賦課金並びに徴収方法決定の件

第4号議案

2026年度受注量割賦課金・特別受注量割賦課金決定の件

第5号議案

役員報酬最高限度額決定の件

第6号議案

借入金残高の最高限度額決定の件

第7号議案

理事3名辞任に伴う補充選任の件

【理事交代】(敬称略)

(辞任)

長谷川 義孝 東京エスオーシー(株)
堀川 和夫 神奈川秩父レミコン(株)
佐藤 清治 日本強力コンクリート工業(株)

(就任)

福嶋 達雄 東京エスオーシー(株)
山本 朝義 神奈川秩父レミコン(株)
鳥井 久史 日本強力コンクリート工業(株)

新任理事ご挨拶

福嶋 達雄



去る5月25日の通常総会において、理事に就任いたしました東京エスオーシー株式会社の福嶋達雄でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて私、今年で62歳となりました。社会人デビューは今から39年前、当時の大阪セメントに入社した昭和62年で、平成2年の生コン出荷約2億㎡の時代はまだ入社4年目の若手として過ごしていました。その頃は、『生コン、セメントの需要は永遠に伸び続ける!』などと、まさにバブル景気に浮かれた夢を本気で信じているようなお気楽社員でありました。が、時代は変遷し私も東京、大阪、広島の各支店で勤務させていただき、その度毎に需要環境が厳しさを増していくのをお客様とともに痛感し、ついに今年度令和8年の生コン出荷見込みは6千万㎡割れと、誰がこの数字を予測できたか?まさに36年隔世の感があります。

しかし、ご承知の通り生コンクリートなくして国土のインフラ構築は成り立たないのもまぎれもない事実です。

現状は需要低迷下ではありますが、今だからこそしっかりと品質のコンクリートを作り、後世に立派なインフラを残していく必要があると感じます。まさに生コンクリート作りの原点に返って、品質第一の品物を作る事が大切であると思います。

と言いながら、弊社芝浦工場は来夏まで長期休止して設備更新工事を行っている最中で、皆様方にはご迷惑をおかけしている事を深くお詫び申し上げます。

今回の工事終了の暁には、品質第一で安定供給に努め、協同組合のそして社会の皆様のお役に立てよう努めてまいります。

最後に私、生コンクリート業界で働かせていただくのは初めてでございます。どうか皆様のご指導、ご鞭撻を賜りたくお願いいたします。(東京エスオーシー株式会社 代表取締役)

は25年になるが、2025年度も順調に売上代金を回収している。

(1)登録販売店数

毎年度の契約更新にあたり、全登録販売店との意見交換を実施し、2026年4月1日付で28社と契約を更新した。

(2)2025年度末債権保全状況(2026年3月末)

債権額53億70百万円に対し、銀行保証と相殺契約を合わせた保証額は82億67百万円となっており、債権保全率は154%と十分な水準を確保している。

2. 販売数量等について

(1)2025年度出荷実績

出荷量は全国ベースで6,028万㎡(前年比91.8%)となり、過去最低を更新した。当協組は建設現場における作業時間短縮に起因する工事進捗の遅れ等により、前年比85.8%となる217万㎡に止まり、協組創設以来の過去最低水準(230万㎡)を更新した。

	(出荷数量)		(引合、成約、契残)		
	5月(実績)	6月(想定)	5月(実績)		
	前年比	前年実績比		前年比	
大型	154,785 ㎡	92.3%	180,000 ㎡	109.0%	
小型	21,647 ㎡	105.5%	20,000 ㎡	88.6%	
計	176,432 ㎡	93.8%	200,000 ㎡	106.5%	
			引合	135,169 ㎡	72.7%
			成約	103,269 ㎡	66.1%
			契残	4,041,035 ㎡	101.3%

(2)2025年度末(2026年3月末)契約残

2025年度末契約残は、前年比103.3%となる414万㎡となった。内幸町・八重洲・東池袋地区等の大型再開発の引合いが有り、増加傾向に在る。

(3)2026年度出荷数量予想

2026年度の全国需要は、前年比97.9%の5,900万㎡を想定している。当協組は、前年度に成約した大型案件の本格化を見込み、250万㎡(上期125.5万㎡・下期124.5万㎡)を計画している。

3. 価格について

(1)積算関係

建設物価及び経済両調査会を月 1 回以上の頻度で往訪し、表示価格の改定を要請した結果、以下のとおり早期に価格反映された。

	改定時期	改定内容
建設物価	2023 年 9 月	17,800 円⇒19,800 円
	2024 年 6 月	19,800 円⇒20,800 円
	2025 年 6 月	20,800 円⇒23,800 円
積算資料	2023 年 10 月	17,900 円⇒19,600 円
	2024 年 6 月	19,600 円⇒20,600 円
	2025 年 6 月	20,600 円⇒23,600 円

(2)広報活動

日本経済新聞並びに業界各紙、両調査会に対し必要の都度、記者懇談会を開催し、当協組の現状及び取り組み事項について説明した。

(3)販売価格

2023 年 4 月 1 日から出荷ベース契約に変更し 2,000 円/m³、2024 年 4 月から 1,000 円/m³、2025 年 4 月から 3,000 円/m³の値上げに注力し、すべてほぼ満額を確保している。

4. 2025 年度の営業関係の状況及び次年度の課題

(1)販売価格の確保

2025 年度の販売価格については、原材料費・運搬費等の急激且つ恒常的な上昇に対応する為、4 月から 3,000 円/m³の値上げ(定価 25,000 円/m³)を実施するとともに出荷ベース契約の完全定着を図った。

この他、①スライド価格改定 ②出荷予定キャンセル料金改定・締切時間変更 ③残コン・戻りコン取消し料金の改定を実施している。

(2)ゼネコンとの相互理解、商流との連携強化

ゼネコンとの相互理解を深める為、日本建設業連合会資材対策委員会、関東資材研究会との意見交換を定期的実施した。

また、登録販売店と様々な会議を通じて、関係活性化及び課題解決の為のベクトル合わせを実施している。

(3)2026 年度の課題

2026 年度は 5 年連続での値上げ実施は見送り、2027 年度に 3,000 円/m³+ α の値上げを実施することとしており、出荷ベースでの販売価格設定の継続実施により達成する基礎固めとして、販売店との意思疎通を十分に図り現状を共有し、ゼネコンからの理解・協力が得られるように努めることとする。

また、特殊コンクリート(軽量、超高強度、環境配慮型)の需要の大幅な増加が見込まれており、対応可能な工場が限定されることから、安定供給確保の為に普通コンクリートを含め従前にも増して出荷予定キャンセルの削減に努めることとする。

【技術報告】(報告者:藤嶽技術委員長)

1. 2025 年度の主な活動

(1)軽量骨材への対応について

海外品軽量骨材の導入を検討しているゼネコン及び販売店への対応として、入手された軽量骨材を使用して試し練りを行い、品質確認と工場使用の際の注意点を整理して報告した。

(2)WG 活動の推進

1)協組創設 50 周年記念誌編纂への協力

「技術関係 WG 活動の歴史について」のテーマで技術関係の座談会を 5 月 8 日に開催した。

2)グリーン骨材利用推進 WG への協力

関東 I 区地区本部技術委員会でグリーン骨材利用推進 WG が発足し、当協組技術部 2 名がメンバーとして参加した。

(3)単位水量推定試験への対応について

納入準備会などで、個別物件毎に受入検査で実施の有無を確認している。

(4)2025 年度品質チェックシステム

技術委員会での決定に従い、2025 年度品質チェックシステムを実施

- 【検査内容】 1)骨材の現物確認
2)事務局による使用骨材産地・石質照合
3)判定会議による検査結果の判定

【判定結果】 全工場が「整合」の結果判定

(5)各種講習会参加

1)JCI 年次大会 2025(盛岡) 7 月 16 日～17 日 「生コンセミナー」聴講 (参加者 30 名)

2)関東 I 区地区本部新技術普及講習会 3 月 18 日

(6)各種関係団体との定期懇談会開催

- 1)第三者試験機関との意見交換会・・・未開催
2)混和剤協会関東ブロックとの技術交流会実施・・・未開催

(7)協組品質管理監査結果

圧縮強度試験結果の推移

	'22	'23	'24	'25
改善勧告件数	1	1	1	0

(8)東京都生コンクリート品質管理監査への対応状況

- 1)品質管理監査委員会 4 回
2)品質管理監査対応 品質管理監査：2 工場、査察：2 工場、上・下期中間監査：4 工場

(9)関東 1 区・東京都工組・共同試験場合同技術委員会

- 1)合同技術委員会 3 回
2)技術研修会(10 月 16 日開催) 独立行政法人造幣局さいたま市局見学

(10)各種会議

- 1)技術委員会：3 回、技術部会：7 回、ブロック技術部会：10 回/ブロック
・各種情報提供、組合員工場からの報告及び技術対応方針決定
・登録販売店への説明(文書発信及び説明会開催)
2)合理化委員会 1 回
3)卸協との業務連絡会 10 回

2. 2026 年度技術委員会活動計画

(1)特殊コンクリート出荷への対応について

2026 年度以降、需要旺盛となる軽量、超高強度、環境配慮型コンクリートの安定供給を目的として、工場と協力して販売店及び現場への対応を行う。

(2)WG 活動の推進

- 1)グリーン骨材利用推進 WG への協力
2)生コン情報の電子化 WG の発足

(3)単位水量推定試験への対応について

- 1)ビデオによる PR を継続。また、データ収集の可否を確認し、状況によっては試験練りを計画する。
2)設計会社に接触を図り、単位水量推定試験についての考えや情報を収集する。

(4)各種講習会参加

- 1)JCI 年次大会 2026(奈良)生コンセミナー (7 月 8・9 日、参加予定者 30 名)
2)その他随時必要な講習会に参加

工組・協組・卸協 三組合合同懇親会開催報告



(右から)
工組 斎藤理事長
協組 森理事長
卸協 高橋理事長

5 月 25 日に当協組、東京生コン卸協組及び東京都工組の各通常総会が開催され、終了後は三組合合同の懇親会が開催されました。その中で当協組の森理事長より、日頃からの当協組に対するご理解ご協力に感謝申し上げ、以下の挨拶がありました。

昨年は出荷ベースの完全なる履行による大幅な価格改定、スライド改定、週休 2 日制の導入、キャンセル料金の改定、残コン戻りコンの料金改定等々様々のことを一度に行いましたが、皆さんのご尽力のおかげでほぼすべてが成功裡に収まっています。この勢いを持続して来年度に繋げていきたいところ です。

来年度の生コン価格は 3,000 円+ α /m³の価格改定を行いますが、この 3,000 円の中にセメント値上げ分は入っておりません。既にセメント大手 2 社が 2027 年度よりセメント価格を 3,000 円/t 引き上げることを表明しましたが、この値上げ分は+ α の部分に入ってきます。そこに当初予定していなかった中東情勢による影響も加味するため「+ α 」が結構な大きさになるかもしれません。現在、当協組にて諸々の影響について精査中ですが、お客様より価格について早く知りたいというご要望があるため、できるだけ早期に登録販売店会議を通して 2027 年度からの新価格をお知らせいたします。

昨年度実施した 3,000 円/m³の値上げは 2022 年度と同じく過去最大幅になりましたが、来年度はこれを大きく上回る値上げになります。今まで以上にご理解とご協力が必要になるかと思えます。生コン事業継続のために何卒よろしくお願いたします。

(5)各種関係団体との懇談会の開催(年 1 回を目標)

- 1)混和剤協会関東ブロック
2)第三者試験代行試験機関

(6)2026 年度品質チェックシステム

立入検査は従来と同様に日本品質保証機構に委託。検査方法は、通年・無通告を原則とする。